



まちかど ま インタビュー

心を癒す発車メロディー 祝JR広野駅発車ベル『メロディー化』

JR広野駅の発車ベルが、通常のベルから上り線は童謡「とんぼのめがね」、下り線は唱歌「汽車」のメロディーに変わりました。

これは、童謡のまちづくりを進めている町が、JR東日本水戸支社の協力を得て実現させたもので、県内ではJR湯本駅に続いて2例目です。今回は、こうした新しい試みについて、町の皆さんにご意見・ご感想を伺いました。



渡邊 伸治さん
折木・西の沢

毎日忙しく電車通学をしているためか、発車ベルがメロディーに変わったことに気づいたのは、何日か後のことでした。

今は毎日のように発車メロディーを耳にしていますが、ベルよりもはるかに良いと思います。

できれば特急の車内放送でも、停車する際に「とんぼのめがね」が流れ、「次の停車駅は広野です。」といった放送が流せれば良いと思います。



JR広野駅発車ベルメロディー化記念式典(上)
築地公園にある童謡「とんぼのめがね」の碑(下)



根本 賢仁さん
下浅見川・松下

童謡「とんぼのめがね」や唱歌「汽車」ゆかりの地ということからはじまった童謡まつりも、回を重ねて定着してきました。

童謡は、優しさや心の豊かさを感じさせてくれるものです。

駅の発車ベルがメロディー化されたことにより、乗降客や車中の方々の心が癒されますし、町の文化度の高さもアピールできるのではないかと思えます。

(インタビュー) 塩 史子

編集後記

ひろの議会だより94号が、全国コンクールで入選を果たし、広野町を県内外にアピールできる絶好の機会を得ました。

どんな形であれ、町が注目されるということは、町の活性化、そして、地場産業の発展や企業誘致等にも一役買うものと、私たち広報委員も喜んでいるところです。

これを機会に、町民の視点に立った紙面づくりにいっそう力を入れ、議員の資質向上はもとより、市政の伸展につながるような広報紙のあり方を調査・研究して行きます。

これからも、広報紙づくりのアドバイスなど、読者の皆さんからお寄せいただければ幸いです。(中津)

広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 中津 伸一
- 副委員長 渡邊 正俊
- 委員 鈴木 紀昭
- 委員 塩 史子
- 委員 鈴木 正範
- 委員 鈴木 正範

次の定例会は6月です

